



Title	2004年度活動報告
Author(s)	
Citation	文芸学研究. 2005, 9, p. 92-93
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/50868
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2004年度活動報告

『文芸学研究』第8号合評会 2004年5月1日 大阪大学

第19回研究発表会 7月24日 神戸女学院大学
文芸批評家ディオニュシオス

戸高和弘

D. H. ロレンス『息子と恋人』における宗教的精神の考察
門口弘枝

第20回研究発表会 9月18日 神戸大学
アンゲロプロス『永遠と一日』へのアプローチ
——様式か運動か

松谷容作

乳首に生えた長い毛とパステルカラー
——吉行淳之介の芸術その初めと終わり

上倉庸敬

第21回研究発表会 12月23日 大阪大学
良心は如何にして芸術の根源と理解されるか？
——W. パーペートの「芸術哲学」にもとづいて

立野良介

芥川の墨画と文人的風流

高橋奈保子

第22回研究発表会 3月5日 大阪大学
アヴァンギャルドからプロレタリアへ
——村山知義の場合

正木喜勝

ボードレールによるワーグナー受容について

伊達立晶

『文芸学研究』第9号発行 3月31日